

次世代を拓く 日本映画の才能を探して

ライジング・フィルムメイカーズ・プロジェクト

2019. **1.26** Sat・**27** Sun

国立映画アーカイブ 地下1階 小ホール

定員=151名(各回入替制・全席自由席)

ising



- 片山慎三** | SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
国内コンペティション長編部門 優秀作品賞、観客賞
- 中元 雄** | カナザワ映画祭 期待の新人監督賞(グランプリ)
- 西口 洸** | ゆうばり国際ファンタスティック映画祭
オフシアター・コンペティション部門 グランプリ
- 工藤梨穂** | ぴあフィルムフェスティバル PFFアワード グランプリ
- 下向拓生** | 福岡インディペンデント映画祭 グランプリ
- 福田芽衣** | 田辺・弁慶映画祭 コンペティション部門
弁慶グランプリ

ilmmakers



若手監督を発掘し続けてきた国内6つの映画祭が一堂に集い、期待の監督の受賞作品を上映します。次世代の日本映画を拓く若い才能と出会える濃密な2日間。皆様のご来場をお待ちしています。

roject



国立映画アーカイブ
NFAJ National Film Archive of Japan

東京国立近代美術館フィルムセンターは、2018年4月1日より国立映画アーカイブとなりました。

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



文庫

平成30年度 美術館・歴史博物館
重点分野推進支援事業

Rising Filmmakers Project

次世代を拓く日本映画の 才能を探して

2019.1.26 Sat・27 Sun

国立映画アーカイブ 地下1階 小ホール

定員=151名 (各回入替制・全席自由席)

主催:国立映画アーカイブ

1月26日[土] 11:00—13:05

岬の兄妹 (89分・DCP・カラー)

知的障害を持つ妹・真理子と二人暮らしをしている良夫。仕事を解雇され、妹に売春をさせて生計を立てようとするが、様々な試練が待ち受けていた……。

2018年 | 監督・脚本・編集:片山慎三 / 撮影:池田直矢、春木康輔 / 録音:西正義 / 美術:松塚隆史 / 音楽:高位妃揚子 / 出演:松浦祐也、和田光沙、北山雅康、岩谷健司、中村祐太郎、風祭ゆき

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 国内コンペティション長編部門 優秀作品賞、観客賞



片山慎三 (かたやま・しんぞう)

1981年生まれ、大阪府出身。助監督としてポン・ジュノ監督の『TOKYO!』(08)、『母なる証明』(09)、また、山下敦弘監督の『マイ・バック・ページ』(11)、『苦役列車』(12)などの作品に参加。

©Shinzo Katayama



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 (2004年から15回開催)

デジタルで撮影・編集された映画のみを扱う国際映画祭。受賞後の支援も厚く、数々の作品を海外映画祭へ紹介。白石和彌、中野量太、坂下雄一郎、上田慎一郎などが輩出。

1月26日[土] 14:05—16:15

デッドコップ (27分・Blu-ray・カラー)

警視庁捜査一課の刑事シラハタと同僚のクラタは、通称「カタナ女」と呼ばれる連続殺人鬼を追っていた。血で血を洗う戦いが今始まる……!

2017年 | 監督・脚本・撮影・編集:中元雄 / 録音:江森聖弥、寒河江綾根 / 出演:白畑伸、倉田恭平、久米愛実、青木菜緒

一文字拳 序章 最強カンフー少年 対 地獄の殺人空手使い (66分・Blu-ray・カラー)

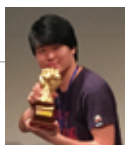
海外武者修行から帰ってきた少年、一文字ユウタが、ひょんなことから出会った漫画家志望の男シラハタ、その友人である借金野郎クラタと共に、謎の殺人空手使いに立ち向かう青春ドラマ喜劇!

2018年 | 監督・脚本・撮影・編集:中元雄 / 撮影:江森聖弥 / 照明:水野里奈 / 録音:寒河江綾根 / 美術:畷本冬花、狩俣迪香、田崎梨沙 / 出演:茶谷優太、白畑伸、倉田恭平、小矢菜奈美

カナザワ映画祭 期待の新人監督賞(グランプリ) ※2作品で

中元 雄 (なかもと・ゆう)

1991年生まれ、広島県出身。中学時代にジャッキー・チェンへのオマージュ映画の制作を始める。現在はWEBデザイナーの傍ら、専門学校で映画制作を学ぶ。必殺技:流星キック、電磁エンド、蛇拳、マンチャク



デッドコップ

カナザワ映画祭 (2007年から12回開催)

北陸地方を代表する映画祭。若手監督作品のコンペ「期待の新人監督」は、粗削りながらも作家の衝動を感じさせる作品が並ぶ。内藤瑛亮、小林勇貴、二宮健、大野大輔、岩切一空、阪元裕吾などが輩出。



ゆうばり国際ファンタスティック映画祭(1990年から28回開催)

ファンタスティック映画を対象とした映画祭。ファンランド大賞(観客賞)グランプリを獲得した『カメラを止めるな!』はその後、一大旋風を巻き起こした。井口昇、真利子哲也、入江悠、松本花奈などが輩出。



西口 洸 (にしぐち・ひかる)

1995年生まれ、大阪府出身。大阪芸術大学にて映画制作を学ぶ。現在は大阪芸術大学にて、機材係として働きながら映画制作を行っている。

1月26日[土] 17:15—18:40

ED あるいは(君がもたらす予期せぬ勃起) (48分・Blu-ray・カラー)

母親の裸をみて勃起したことが原因で、ED(勃起不全)になってしまった少年の性春映画。笑って泣ける爽やかな作品。

2017年 | 監督・脚本・編集:西口洸 / 撮影:山村凌平 / 照明:榎田詢平、岡本拓也 / 録音:木村健太郎、黒田潤平 / 美術:畠智哉 / 音楽:長谷川文彦 / 出演:西浦陽色、内海葉月、飯室翔太、中西綾香、渡邊由一、渡邊元子、たなべ勝也、田中月、ボチ(犬)、岩田徳承

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 オフシアター・コンペティション部門 グランプリ

若い才能と映画界との架け橋となっている映画祭が、日本各地で開催されています。本プロジェクトでは、中長篇作品を対象に10回以上開催している各地の代表的な映画祭から推薦された受賞作品を、2日間にわたって上映します。

各回、映画祭が上映作品を紹介する上映前トークを行い、上映後は監督とゲストとのトークを予定しています。




ぴあフィルムフェスティバル (1977年から40回開催)

若手監督の登竜門として名高い映画祭。「PFFスカラシップ」など受賞者へ様々な支援を行っており、現在活躍する監督の中に出身者は多い。近年は、石井裕也、山戸結希などが輩出。

1月27日[日] 11:00—13:05

オーファズ・ブルース (89分・DCP・カラー)

記憶が欠落する病を抱えるエマは行方不明の幼なじみのヤンを友人らと探しに。その存在と大事な思い出が消える前に彼女の再会の願いは叶うのか？少女の切なる叫びが聴こえるロードムービー。

2018年 | 監督・脚本・音楽・編集:工藤梨穂 / 撮影:谷村咲貴 / 照明:大崎和 / 録音:佐古瑞季 / 美術:柳芽似、プロムムアン・ソムチャイ / 音楽:村原孝磨 / 編集:村上由規乃 / 出演:村上由規乃、上川拓郎、辻風子、佐々木詩音、窪瀬環、吉井優  **ぴあフィルムフェスティバル PFFアワード グランプリ**

工藤梨穂 (くどう・りほ)

1995年生まれ、福岡県出身。高校2年生の時に、西加奈子の小説「さくら」に感動し、いつか映画化したいと映画の道を志す。京都造形芸術大学入学後、『サイケデリック・ノリコ』(15)、『サマー・オブ・ラブを踊って』(16)を制作。



1月27日[日] 14:05—15:50

センターライン (67分・Blu-ray・カラー)

自動運転AIの発展により、交通事故が激減した平成39年。新人検察官の米子天々音は、閑職部署である愛知地検交通部に配属される。処遇に不満な米子は、誤作動により中央線を越えて事故を起こした自動運転AIを起訴しようと画策する……。

2018年 | 監督・脚本・編集・美術:下向拓生 / 撮影:JUNPEI SUZUKI / 録音:上山輝 / 美術:木村翔、上道裕太 / 音楽:山口いさお (ISAO.) / 出演:吉見茉莉奈、星能豊、倉橋健、望月めいり、上山輝

 **福岡インディペンデント映画祭 グランプリ**



下向拓生 (しもむかい・たくみ)

1987年愛知県生まれ、福井県育ち。大学時代は映画制作部に所属し、主に撮影・編集・スチル・アートワーク制作を担当する。一般企業就職後、脚本を勉強し始め、自主制作した作品が全国の映画祭で数々の賞を受賞。落語、一人芝居、演劇の脚本も手がける。



福岡インディペンデント映画祭 (2009年から10回開催)

インディペンデント作品の上映を通して、国内・海外の制作者が交流する場を作ろうとスタート。受賞作品だけでなく応募作品をすべて上映する。飯塚俊光、塩出大志、渡部亮平などが輩出。




田辺・弁慶映画祭 (2007年から12回開催)

近畿圏で注目株の映画祭。多くの映画ファンが集い、上映後のトークを盛り上げる。受賞作品は、テアトル新宿、シネ・リープル梅田で上映される。沖田修一、瀬田なつき、岨手由貴子、今泉力哉などが輩出。

1月27日[日] 16:50—18:05

チョンティチャ (40分・Blu-ray・カラー)

ミャンマー人とタイ人のハーフとして日本に生まれたチョンティチャは、自らの生い立ち、居場所、名前、生活に違和感を覚えながらも、心に無駄な波風を立てぬよう、日々をやり過ごしていたのだが……。いつもより少し蝉の煩い、16度目の夏。

2017年 | 監督・脚本:福田芽衣 / 撮影:高橋チョンティチャ / 照明:林里美 / 録音:宮崎まどか / 美術:高橋かなえ / 編集:松井啓人 / 出演:長月凜、秋葉智人、荒井乃梨子、油布辰樹、野本雄一  **田辺・弁慶映画祭 コンペティション部門 弁慶グランプリ**

福田芽衣 (ふくだ・めい)

1995年生まれ、兵庫県出身。東放学園映画専門学校卒業。入学当初は監督志望ではなかったが、短編『穴のなか』で監督を務める。卒業制作として『チョンティチャ』を手がけ、第29回東京学生映画祭グランプリを受賞。



次世代を拓く日本映画の才能を探して

上映スケジュール

※各回、上映前と後にトークがあります。詳細はHP等でお知らせします。

1月26日[土]



11:00-13:05 監督:片山慎三

『岬の兄妹』(89分)



14:05-16:15 監督:中元 雄

『デッドコップ』(27分)

『一文字拳 序章

—最強カンフー少年対地獄の殺人空手使い—(66分)



17:15-18:40 監督:西口 洸

『ED あるいは

(君がもたらす予期せぬ勃起)』(48分)

1月27日[日]



11:00-13:05 監督:工藤梨穂

『オーファズ・ブルース』(89分)



14:05-15:50 監督:下向拓生

『センターライン』(67分)



16:50-18:05 監督:福田芽衣

『チョンティチャ』(40分)

料金 [前売券・当日券]

一般520円 | 高校生・大学生・シニア(65歳以上)310円 | 小・中学生100円

※障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブ及び東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズは当日券のみあり・無料 ※学生・シニアの方は、入場時に証明できるものをご提示ください。

■ 前売券

12月18日[火] 10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各50席分)を販売します。[Pコード:559-326]

前売券購入方法

- ▶ チケットぴあ店舗、セブン-イレブンで購入
前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。
- ▶ 受付電話(0570-02-9999)で購入
前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。
毎週火・水曜2:30am~5:30amはシステムメンテナンスのため受付休止となります。
- ▶ チケットぴあウェブサイト(<http://w.pia.jp/t/nfaj-rising/>)で購入
前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円、また決済方法によって1件ごとに決済手数料がかかります。

※チケットぴあの手数料等については、チケットぴあHPのヘルプ、利用料一覧のページをご覧ください。

※本前売券の購入に、システム利用料(通常216円/枚)はかかりません。

※前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

■ 当日券

当日券で入場される方には、開館(9時45分)と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。

※当日券の発券は、定員に達し次第、締切ります。

※学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブ及び東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。

※整理券・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

■ 入場方法

- 前売券をお持ちの方は、開場時(開映20分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。
- その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。
- 前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。

※前売券、当日券は当日・当該回のみ有効です。各回、開映後の入場はできません。



お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600
ホームページ www.nfaj.go.jp

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通

- ▶ 東京メトロ銀座線京橋駅下車
出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線宝町駅下車
出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車
出口7より徒歩5分
- ▶ JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

